

主な内容

第4回定例会（令和6年6月）.....	p2
第3回臨時会.....	p3
村政を問う（一般質問）.....	p6～p12
がんばる野田っ子.....	p14

議会だよりのた

5月11日、野田中学校の体育祭が行われ、赤組団・緑組団に分かれて「野田中ソーラン」など競技を行いました。（写真提供：野田中学校）



一般会計補正予算総額 65億7,940万円

6 月
定例会

補正予算

一般会計予算

1億5785万

1000円増

一般会計補正予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5785万1000円を追加し、総額を65億7940万1000円としました。歳出の主なものは、村道中平上明内線歩道新設事業、新型コロナウイルスワクチン定期接種事業及び価格高騰緊急支援給付金給付事業等に要する経費のほか、人事異動に伴う一般職給与費等の人件費などとなっています。質問が多く出されたのが「合葬墓作製経費」

第4回村議会定例会が6月11日から14日までの4日間を会期に開催されました。本定例会では、一般会計補正予算・条例の一部改正など10件の案件、請願2件、議員発議案2件について審議を行いました。13日には6人の議員が一般質問を行いました。

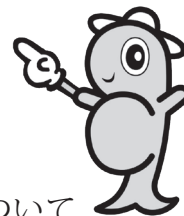
と「可燃ごみ収集運搬経費」についてでした。

【主な事業】

- 地域おこし協力隊活動経費 504万1,000円
- 三陸鉄道経営安定化交付金 622万7,000円
- 価格高騰緊急支援給付金給付事業 1,552万9,000円
- 定額減税補足給付金（調整給付）給付事業 1,482万4,000円
- 新型コロナウイルスワクチン定期接種事業 2,037万8,000円
- 合葬墓作製経費 350万円
- 可燃ごみ収集運搬経費 157万9,000円
- 村道中平上明内線歩道新設事業 7,894万1,000円

請願

第4回定例会（令和6年6月）までに受理した請願2件について総務教民常任委員会で審査を経て、本会議で審議しました。



受理番号	請願第1号	請願第2号
件名	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願	現行の健康保険証を残すことを求める請願
請願者	岩手県教職員組合県北支部 支部長 小関 高博	岩手県社会保障推進協議会 会長 佐藤 嘉夫
紹介議員	山田 陽子、丹野 和子	山田 陽子、丹野 和子、中川 昇
付託先	総務教民常任委員会	
審査結果	採択 ➡ 国へ意見書提出	

6月臨時会

「交流物産等複合施設整備工事」 決まる



7月17日「安全祈願祭」

第3回村議会臨時会が6月28日に開催され、議案1件について審議を行いました。「(仮称)交流物産等複合施設整備工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて」が提案され、賛成全員で可決しました。

- 契約金額 9億1,850万円
- 請負者 (株)プライム下館工務店
- 工事期間 令和6年6月28日から令和7年3月21日までの予定。

試行的に10月末まで
**可燃ごみの全地区2回
収集が始まっています**

【試行期間】

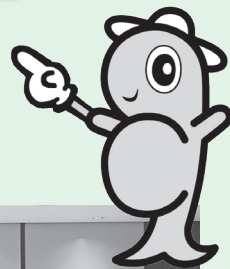
7月1日(月)から10月31日(木)まで
詳しくは「広報のだ」6月号を
ご覧ください。



行ってきました! 「野田はまなす会」

6月23日、「野田はまなす会総会」「野田はまなす会ふるさと交流会」に全議員が参加しました。

交流会では、村からの報告、楽器演奏や歌の披露などが行われ、野田中学校校歌を全員で合唱し閉会しました。



《総務教民常任委員会》

- 5月30日、総務教民常任委員5名による視察研修会を開催し、村内4か所の村指定文化財・名所など視察しました。村から、未来づくり推進課・教育委員会の担当者との質疑も交わされ、今後の維持や活用など方向性を探る機会となりました。

▼視察先▼

- ①「神明様神木ヒバ」
- ②「御台場」
- ③「米田浜津波堆積物地層」
- ④「西行屋敷跡」



④「西行屋敷跡」



③「米田浜津波堆積物地層」は、東日本の太平洋沖で過去発生したほとんどの津波の痕跡が残る貴重な村指定文化財です。

《産業常任委員会》

- 6月21日、産業常任委員4名による視察研修会を開催し、村内3か所の視察を行いました。施設の利用状況や課題などを視察しました。

「庵日形井」「染織工房」 ワーケーション・ワークスペース

移住交流体験施設として貸出をしており、最近ではハイカーの宿泊が増えているようです。



「のだ塩工房」「国民宿舎えぼし荘」

塩工房では、4基の窯で昔ながらの「薪窯直煮製法」で塩が作られ、燃料となる薪の調達価格高騰などの影響も大きいようです。

議 案 一 覧

第 4 回定例会 6月11日～6月14日

議案番号	議案名・議案内容	議決結果
報告第 1 号	令和 5 年度野田村一般会計予算繰越明許費の報告について →戸籍総合システム改修事業ほか 7 件について繰り越しを報告するもの	—
承認第 1 号	令和 5 年度野田村一般会計補正予算（第 8 号）の専決処分に関し承認を求めることについて →特別交付税及び地方消費税交付金等の額の確定に伴い予算を補正するもの	承認 (賛成全員)
承認第 2 号	野田村税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて →地方税法等の一部改正に伴い、野田村税条例の一部について所要の改正をするもの	
承認第 3 号	野田村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて →地方税法等の一部改正に伴い、野田村税条例の一部について所要の改正をするもの	
承認第 4 号	特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて →東日本大震災復興特別区域法の一部改正に伴い、所要の改正をするもの	
承認第 5 号	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて →奄美群島振興開発特別措置法の一部改正に伴い、所要の改正をするもの	
第 1 号	令和 6 年度野田村一般会計補正予算（第 1 号） →予算総額に歳入歳出それぞれ 1 億 5,785 万 1,000 円を追加し、総額を 65 億 7,940 万 1,000 円とするもの	可決 (賛成全員)
第 2 号	令和 6 年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号） →予算総額に歳入歳出それぞれ 477 万 3,000 円を追加し、総額を 4 億 8,604 万円とするもの	
第 3 号	令和 6 年度野田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） →予算総額に歳入歳出それぞれ 24 万 8,000 円を追加し、総額を 5,166 万円とするもの	
第 4 号	令和 6 年度野田村国民宿舎事業特別会計補正予算（第 1 号） →予算総額に歳入歳出それぞれ 353 万 1,000 円を追加し、総額を 4,677 万 8,000 円とするもの	
発議案第 1 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について →国に対して、教職員定数の改善等を求める意見書を提出するもの	可決 (賛成全員)
発議案第 2 号	現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出について →国に対して、現行の保険証の存続を求める意見書を提出するもの	

第 3 回臨時会 6月28日

議案番号	議案名・議案内容	議決結果
第 1 号	(仮称) 交流物産等複合施設整備工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて →工事を施工するにあたり、9 億 1,850 万円で株式会社プライム下館工務店と請負契約を締結しようとするもの	可決 (賛成全員)

※議長は採決に加わらない

村政を問う

議員 **6** 人が登壇

一般質問は、村の行政事務全般（一般事務）に関し、村の所見や疑義について質問することができます。定例会でのみ（原則）行うことができます。
質問時間は、1人60分までとなっており、1つの質問につき3回まで質問することができます。

質問議員（質問順）	質問事項	掲載ページ
たんの かずこ 丹 野 和 子	1 交流物産等複合施設に係る予算の執行にあたっての附帯決議の取り組みについて 2 交流物産等複合施設の基本構想について 3 小・中学校体育館へのエアコン設置について 4 桜の苗木の植樹について	7
おの でのら ゆたか 小野寺 豊	1 小学校建設工事について 2 村道の維持管理について 3 交流物産等複合施設建設について	8
おの でのら きよ たか 小野寺 清 貴	1 鳥獣被害対策について 2 野田村育英会奨学金制度について	9
なか がわ のぼる 中 川 昇	1 県道野田山形線と高校通り線交差点付近の交通安全対策について 2 大雨対策について 3 歯と口腔の健康にかかる子どもの歯列矯正費用の助成について 4 野球場スコアボードの改修について	10
やま だ よう こ 山 田 陽 子	1 野田村交流物産等複合施設事業についての住民説明会等について 2 小中学校の給食費について 3 子育て支援について 4 道路整備について 5 パートナシップについて 6 体育施設の整備について 7 中学校の体育施設について	11
まい た とくいちろう 米 田 徳一郎	1 交流物産等複合施設について 2 人口減少対策の取り組みについて 3 観光振興の現状と課題について 4 北岩手・北三陸横断道路について	12



丹野 和子 議員

陸中野田駅

無人化の回避を

村長 駅は無人化せずに活用



朝の「陸中野田駅」

問 「交流物産等複合施設」
近隣の同様の施設との差別化はどのように行うか。

村長 イベント・企画などを強化し、夕方の以降の来訪者獲得のため、自動販売機等の導入、山林の活用、キャンプサイトの整備などを予定している。

問 「産直はあぶる」は多くの村民に利用されている施設であり、

現在地に今までに近い形で残すことはできないか。

村長 産直機能は移転する。現施設は効果的に活用されるよう公募で施設利用者を選定する方向である。

問 駅の無人化は回避できないか。

村長 今後も利用者が便利に使えるよう無人化せず活用する。

問 「交流物産等複合施設」内に充電機能とキャンピングカーの受け入れスペースの設置は。

村長 敷地内に電気自動車用急速充電設備を1基、キャンピングカー等の利用を見込んだ電源付き駐車スペースを4区画整備予定である。

問 出店者の負担を減らしチャレンジしやすい方法として、どのような方策を考えているか。

村長 指定管理者の管理運営の中で、魅力向上に必要と思われる企画や採算性を検討し、実施・運営できるように連携したい。

問 出店者、小規模農家等の生産量増加が図れるよう経済的支援が必要では。

村長 出店に係る経費等村の既存制度を活用し新規出店者等を支援していく。

問 今年3月、十府ヶ浦公園に桜の苗木を100本植えたとのことだが、なぜ植え替えることになったのか。

村に桜並木を

村長 施肥等で状況をみてきたが、生育状況が思わしくなく回復の見通しがないことから、寄贈を受けたタイミングで行った。



十府ヶ浦公園の桜の苗木

問 植え替えた苗木に葉が出ていないものがあるが、桜が順調に育つ方策はなされているか。

村長 植え替えに際しては、ある程度土壌を入れ替え、根張りがよくなるようにしている。すでに枯死している苗木は植え替えることで進めていく。

【その他の質問】
小・中学校体育館へのエアコン設置について

支障木の枝払いを

村長 安全確保のため維持管理に努める



小野寺 豊 議員



夏場の難所

問

今の季節、草木の生命力、成長の早さに驚かされる。村内各地で道路脇の草刈りはするが、木々が道路脇から覆いかぶさり、暗い緑のトンネル状態で幅員が狭くカーブが多い村道がある。冬場は雪の重みで枝が垂れ下がり、降雪時除雪車が進めず後回しになる路線もある。森林環境譲与税を活用し、通行に支障がある木々の枝払いを計画的に対処すべきでは。

村長

高木でトンネル状態のところが見られると認識している。村道敷地内は成長する前に伐採等しているが、民地については所有者の方々の協力を得て、今後も通行の安全確保のため適切な維持管理に努めていく。

問

民地側の街灯が枝葉に隠れ、効力が阻害される所が見られるが。

村長

街灯について認識が薄かった。街灯にかかる支障木等は早めに所有者の了解を得て切るよう対処する。

「交流物産等複合施設」

問

3月定例会の一般質問で「交流物産等複合施設」建設について質問した。提案した男性トイレの小便器増設の検討結果は。

村長

男性トイレの小便器を3基増加した設計になった。来場者が快適に利用できるよう配慮したい。

問

便器増設は大変喜ばしい。増設によりトイレの面積は広くなるのか。また増設する1基を幼児用にしてはどうか。

村長

トイレ棟の面積は変わっていない。間取りを修正し、手洗い等のスペースに支障がないよう工夫している。幼児用便器の設置はしないが、子どもも使いやすい形を設置する。

小学校建設の進捗状況は

問

「小学校建設工事」は昨年11月造成工事に着手。本年5月末時点で外構のフェンス設置も終え、建築工事が開始されている。工事関係者から進捗度合は良好である。



工事は順調です

と聞いた。工事発注後から現在まで設計変更等はあるか。

教育長

昨年工事に着手して以来、造成工事、建築工事とも順調に進んでいる。現在の進捗率は21パーセントである。これまでのところ、令和5年度分で地盤改良のほか、土砂の運搬・整地等に係る経費を変更増とした。また、現在、2階のトイレをより使いやすく配置するなどの検討を進めている。



小野寺 清貴 議員

村育英会奨学金

制度の見直しを

教育長 さまざまな課題を考慮していく

問

村育英会奨学金制度の全額返還免除条件に、看護師、保育士、介護職員の3つの職業（村内勤務に限る）が限定されている理由は。

教育長

返還免除は、今後の本村の発展に資する若者の人材確保を趣旨としたものである。優先度として保育士、看護師、介護職員の3つの職種を挙げているが、それ以外の職種にあっても2分の1を免除としている。

問

返還免除条件に、「村に住所を有し居住している者」とあるが、定住年数の条件はあるか。

教育長

減免した際の定住年数の条件は特に定めがなく、返還期間に野田村に居住し、就業していることが条件となっている。

問

全額返還免除に該当する職業、規定

条件の見直しを図る考えは。



教育長

奨学金は財源等の課題もあるため、世の中の動向、近隣市町村の状況、さまざまな村の課題などを鑑みたくえで協議しながら、指摘された面も必要があれば広げる等考慮していく。

鳥獣被害対策強化を

問

鳥獣被害の増加が予想されるなか、鳥獣被害対策実施隊のみならず、狩猟免許がなくなると罠の設置、見回り等の補助的な役割を果たすことができる「有害鳥獣捕獲サポーター制度」を設け、農業従事者を中心に地域を巻き込んだ自主

防除捕獲の意識高揚が必要ではないか。

村長

昨年度、県と管内4市町村が連携し、被害対策講習会を開催するなど、今後も関係機関等と連携し意識醸成を図りたい。自主捕獲については、あくまで被害を受けた農林業従事者が自らの責任で捕獲し、適正に処理することが条件である。「有害鳥獣捕獲サポーター制度」については、今後重要になってくると思うが、資格を持つていない方々が実際の捕獲に関わることは非常に難しいと思う。鳥獣被害対策実施隊等の資格を持った方々と一緒にやっていく方向でなければ非常に厳しい状況になってくると思っている。

問

本村を含めた管内市町村において、狩猟免許取得に関わる一部を補助されているなかで伺う。本村だけが猟銃購入補助金を設けられて

いない。担い手育成の観点からも設けるべきではないか。

村長

管内他市町村では猟銃等にも補助しているのが実態であるが、有害駆除に力を入れていく取り組みとして、本村では今年捕獲単価を上げ、近隣市町村より高く設定している。猟銃購入補助についても、なるべく早いうちに設けたい。

【その他の質問】

・駆除された野生鳥獣の活用について



村内で駆除されたクマ

交通安全対策を

村長 啓発看板の設置等を検討



中川 昇 議員



交通量が増えています！

問

県道野田山形線と
高校通り線交差点
付近は交通量が多く、隣
接地に「交流物産等複合
施設」が建設されるため、
歩行者用の信号機の設置、
安全運転の看板の設置、
路面標示で減速を促すな
どの対策が必要と考える
が。

村長

交通安全対策は必
要と考えている。
信号機設置には様々な条
件があり、現時点での設
置は困難と思われる。今
後さらに交通量増加が予
想される。久慈警察署と

情報共有し、信号機設置
について協議をしていく。
また村道には減速を促す、
ドットラインを設置して
いるが、加えて交通安全
や事故防止に関する啓発
看板の設置など対策を検
討する。

大雨対策を

問

近年の気候変動等
で短時間雨量が増
加し、台風や大雨等で大
きな災害が懸念される。
河川の堆積土砂や支障木
の撤去、伐採などの必要
性を調査し、河川近くの
民家には「土のう」の配
備を行い、周知も含め、
災害に備えるべきと考
えるが。

村長

村管理河川の維持
管理は、支障木等
の自主確認や情報提供
などを受けた都度、極力
速やかな対応に努めてい
る。県管理河川について
は河道掘削、支障木撤去
などの要望を継続してい

く。土のうは、ある程度
ストックしている。住民
の必要に応じて速やかに
対応するよう努めていく。

子どもの

歯列矯正費用への助成を

問

学齢期の歯の健康
において、虫歯予
防と並んでかみ合わせの
改善が大切と言われている。
現在、歯列矯正の費
用のほとんどが保険適用
外であり、保護者は大き
な経済負担を抱えること
になる。歯列矯正が必要
と診断を受けた子どもの
歯列矯正費用の一部を助
成する考えは。

村長

矯正治療が保険適
用になるケースは、
顎の骨の異常により、か
み合わせに問題の出てい
る「顎変形症」と診断さ
れた場合や国が定める59
の疾患に該当した場合に
限られている。現段階で
村独自の助成は難しいと
考えている。

総合運動公園野球場
(ライジング・サン・スタジアム)

スコアボードの改修を

問

村野球場は、これ
まで多くの大会等
が開催され、交流人口の
拡大と本村のスポーツ振
興の一翼を担ってきた。
近年は選手名が表示され
るスコアボードへの転換
が進み、球場に大きなイ
ンパクトを与えている。
これからの子ども達へ夢
を与える施設、設備とし
てスコアボードの改修が
必要と考える。

教育長

村野球場は平成12
年3月に完成。ス
コアボードのLED劣化
により平成21年度に改修
工事を行い15年が経過し、
明るさなどに劣化が見え
始めている。前回のよう
な部分的な改修が不可能
となっており、全面的な
改修が必要とされている。
財源の確保に努めながら、
村のスポーツ施設のシン
ボルとして多くの利用者
から愛されるよう検討し
ていきたい。



山田 陽子 議員

「交流物産等複合施設」整備事業

事前説明・意見聴取などが不足では！

村長 その都度関係団体と協議してきた

問

「交流物産等複合施設整備事業」の住民説明会が先頃4月29日に開催された。物産館の移転等は住民の関心も高く、なぜこの時期に開催されたのか。

村長

これまで出店希望者・事業参画希望者との意見交換を9回、ほか説明会や意見交換会、模型展示などを15回、ワークショップや視察を8回実施し、その都度意見や提案など頂戴した。先頃4月29日に開催の説明会は、当初予算の可決に伴う附帯決議に基づき、住民への丁寧な説明の一環として改めて開催した。

再質問

産直等施設を利用する側の意見や声など聞く機会がなかった。反省すべき点ではないか。

村長

村では参加希望者だけではなく、一般の方々にも広報しながら「新施設のワーク

ショップ」を4回開催、十分でないという話もあり4月の説明会を開催。



住民説明会での様子（4/29）

給食費への支援策は

問

昨今の社会情勢から給食費への何らかの支援策が必要では。

村長

今後も他市町村や国・県の動向を踏まえ検討したい。また県要望の際に、他県での実例と併せて県へ働きかけを行って参りたい。

「子ども食堂」で居場所づくりを

問

子ども・子育て支援の充実として「子ども食堂」が他の自治体等で実施されている。本村も夏休みや冬休みなどに実施してはどうか。

村長

民間団体等による、いわゆる「子ども食堂」等を含めた居場所の開設を期待している。協力してもらえらる団体等への支援の方策で進めていきたい。

道路改修・歩道の確保を

問

三陸沿岸道路の開通や小学校新築整備に伴い交通量が増えている。特に村道明内中平線・秋田線の道路改修等、早急な対応が必須では。

村長

各路線の利用状況に変化があると認識している。村全体の交通状況の推移を注視し、検討していく。

パートナーシップ制度導入を

問

県が「パートナーシップ制度の導入に関する指針」を策定し1年が経過した。本村でも制度導入すべきでは。

村長

地域の状況を把握したうえで、必要に応じて検討する。

問

カミングアウトしなれば制度の導入ができないのか。制度があることが大事なので。

村長

村としてどのようなことができるのかを含めて検討していきたい。

【その他の質問】

・村体育館の用具等の計画的な整備を。
・中学校体育館の用具等の整備とグラウンドの抜本的な飛散対応策を。

附帯決議に対する取り組みは

村長 村民の意見等取り入れ事業を進める



米田 徳一郎 議員

問

「交流物産等複合施設」の予算執行に当たっては、当初の目的であるまちなか再生につなげる事業とするよう附帯意見を附して採択されているが、その取り組み状況は。

村長

「村民への説明を一層丁寧に行い、十分な理解を得られるよう」4月29日に説明会を開催し、施設整備の必要性や整備概要などを説明したほか、広報のだ6月号で説明会の内容を掲載し、広く周知を図る予定である。引き続き必要な情報を共有していきたい。また、住民の意見や提案として同説明会で「立地が適している」「他の施設との差別化が重要」「暗い話題が多いなかだが新施設の完成を期待している」などの意見があった。現在の施設は、駅機能やトイレ等は、今後も利用する方の利便性を配慮していく。観光物産館及び産直機能は新施設に移転することになるが、今

後も村民の皆様のご意見等を取り入れながら事業を進めていきたい。



「道の駅のだ」

20代、30代の女性の都市部への流出を防ぐ対策を

問

人口減少の原因は「若者の結婚及び出産に関する意識の変化」「育児に対する経済的な負担」等が大きな要因、その対策を急ぐべきでは。

村長

少子高齢化、人口減少は、本村のみならず全国的な課題である。村では、安心して子育てができる環境の構築に向け取り組み、子どもたちが健やかに育つ環境の整備と子育てに係る様々な経済的負担の軽減

を図っている。人口減少は、その要因として様々な要素が絡み合うことから、今後も子育て支援、交流人口の拡大、産業振興策などを継続して実施し、長期的な視点をもち進めていきたい。

観光振興の現状と課題は

問

三陸沿岸道路全線開通から2年6ヶ月が過ぎ交通量も安定した反面、国道45号の交通量が大きく減少、観光客もまばらで寂しさを感じるが、観光施設・史跡・導線などの整備は万全か。

村長

本年は「みちのく潮風トレイル」が全線開通5周年を迎え、2月には英国タイムズ紙で「日本の訪れるべき14の場所」に選ばれるなど、今後もハイカーの更なる増加が期待される。すでに著名な地図アプリにはトレイルルート全線が記載されているほか、村独自でハイカーをサポートする店舗等の設置、村内

トレイルマップの作成などを実施しており、今後も安全で適切な管理を行い、三陸ジオパークや震災学習など関連する分野とも連携しながら観光振興を図りたい。

「フル規格での早期整備」を関係機関に求めるべき

問

県では、盛岡市と久慈市を結ぶ「(仮称)久慈内陸道路」を構想路線として位置付けているが、「北岩手・北三陸横断道路」整備に向けた進捗状況と課題は。

村長

構想路線の位置づけは、「高規格道路としての妥当性を検討する路線」としている。進捗状況は本年1月と3月に県土整備部、県庁担当課、関係首長で意見交換が行われ、一部具体的な意見を交わすなど少しずつ前進している。現在、県で実施している調査業務の中で、整備の考え方等、沿線市町村と共有しながら検討していく。

主な議会の動き

● 4 月 ●

3 日	道路関係 4 団体監査	議長
4 日	野田中学校入学式	全議員
6 日	野田小学校入学式	全議員
8 日	久慈工業高校入学式	全議員
13 日	三陸鉄道開業40周年記念式典（宮古市）	議長
15 日	村政調査会	全委員
16～17 日	北部地区町村議会議長会通常総会（八戸市）	議長・副議長

● 5 月 ●

10 日	野田村育英会役員会・総会	議長
11 日	野田中学校体育祭	議員
20 日	八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会総会（八戸市）	議長
21～22 日	町村議会議長・副議長研修会（東京都）	議長・副議長
23 日	野田村商工会通常総会	議長
25 日	野田小学校運動会	議員
27 日	村政調査会	全委員
30 日	総務教民常任委員会視察研修会	総務教民常任全委員
31 日	県町村議会議員研修会（盛岡市）	議員

● 6 月 ●

2 日	野田村消防団特別点検	全議員
3 日	野田村体育協会評議員会	議長
7 日	議会運営委員会・議員全員協議会	全議員
7 日	日向保育所運動会	議員
10 日	野田村観光協会役員会・通常総会	議長
11～14 日	第 4 回野田村議会定例会	全議員
14 日	野田村保育所運動会	議員
15 日	北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会総会・決起大会（葛巻町）	議長、副議長、産業常任委員長
17 日	久慈工業高等学校を守り育てる会総会	議長
19 日	市町村要望（久慈市）	議長、副議長、産業常任委員長
20 日	国道281号整備促進期成同盟会監査（議長室）	議長
21 日	玉川保育所運動会	議員
21 日	産業常任委員会視察研修会	産業常任全委員
23～24 日	野田はまなす会総会・ふるさと交流会（東京都）	全議員
26 日	国道455号・盛岡普代間道路整備促進期成同盟会総会（盛岡市）	議長
27 日	日向・玉川保育所施設整備事業完了記念式典（生涯学習センター）	議長
28 日	第 3 回野田村議会臨時会	全議員
28 日	北奥羽開発促進協議会定例会	議長



議会傍聴できます！

村議会定例会は、3月・6月・9月・12月に行われています。
傍聴の手続きは、受付簿に必要事項を記入するだけなのでとても簡単です。
村の将来やあり方についての議論を直接聞くことができます。皆様の傍聴をお待ちしております。

次の定例会は 9 月です





今回は『野田フェニックス』

6月13日、少年野球チーム「野田フェニックス」の子ども達に今の目標など聞きました。メンバー27人で週5日、主に村の山村広場で練習をしています。



全国大会で優勝するぞ!

★村へ子ども達からの声★

山村広場の

- ・バックネットの網を取り換えてほしい。
- ・ベースに穴が開いているので買ってほしい。
- ・照明が切れてるので直してほしい。
- ・照明が壊れて下を向いている所を直してほしい。
- ・照明代を安くしてほしい。
- ・ファウルボールを見つけやすいように、法面の草刈りをしてほしい。
- ・トイレを直してほしい。

- ・エースになりたい!
 - ・レギュラーになりたい!
 - ・ヒットを打ちたい!
 - ・ホームランを打ちたい!
 - ・セカンドになりたい!
- など

今日の目標



議会だよりクイズ

問題

「(仮称)交流物産等複合施設」整備工事の予定期間は。

- ① 令和7年3月
- ② 令和7年5月
- ③ 令和7年8月



◀こちらからも応募できます!
村ホームページ「議会だより のだ」につながります。
スマートフォン等のカメラ機能で読み取ってください。

【前号の答え】 ③ 8月

【当選者】 尾崎由羽美さん、宇部和行さん、土内萌生さん

正解者の中から抽選で3名の方に
「野田村共通商品券」をプレゼント!

【応募方法】

はがきやFAXなどで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先を記入してご応募ください。**新たに応募フォームからも応募できるようになりました。**応募は1人1通までとし、匿名での応募は受け付けません。議会だよりに対するご意見もお待ちしております。

【応募先】

〒028-8201 九戸郡野田村大字野田20-14
野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで。
FAXの場合は0194-78-3995 まで

【締め切り】 8月30日消印有効。

【当選発表】 次回号で当選者(特に断りが無い限り氏名)を発表します。

あどがき

暑い日が長く続き熱中症が心配されます。歴史的な円安の影響もあり物価高騰が続くなか、例年以上といわれる酷暑を乗り切るための緊急支援策として、政府は生活に欠かせない電気・ガスの使用料金の負担軽減策を決定いたしました。地方に多いLPGガス(プロパンガス)の利用者に対する支援についても速やかな実施を望むところです。

気象庁によれば、今年は特に8月の暑さが厳しくなると予想されております。こまめな水分補給や日傘を使用するなど万全の対策でこの夏を乗り切りましょう。

「議会だより第168号」をお届けします。ご意見、ご感想等お寄せいただければ幸いです。

中川 昇

発行責任者

広報編集委員会

委員長	前田 忠一
委員	中山 安子
委員	中川 陽子
委員	中川 昇
委員	米田 徳一郎